

緑が丘

校訓
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」
学校教育目標
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

令和7年度
平戸市立田平中学校
学校だより 第14号
(令和7年11月)
文責 堀江 泰賢

全校生徒の親睦を深めました ~ 生徒会主催「縦割り班対抗 ドッジボール大会」 ~

11月13日(木)、今年度2回目となる生徒会主催のレクリエーションが開催されました。前回は1学期に、学級の仲間と交流し、学級の団結を深めることを目的として、学級対抗のドッジボール大会が行われました。今回は、全校の仲間と交流し、全校生徒の親睦を深めることを目的として、学年や学級の枠を超えて「縦割り班」を編成して、縦割り班対抗のドッジボール大会が行われました。

当日は、まず、縦割り班(チーム)ごとに「顔合わせ・自己紹介」が行われ、3年生を中心に試合へ向けて団結力を高めていました。その後、生徒会役員からルールなどの説明があり、2コートに分かれて白熱した試合が展開され、大いに盛り上がることで全校生徒の親睦を深めました。そして何より、生徒会役員を中心に事前の準備やルール説明、試合の判定・記録・結果の放送が行われ、また、各チームもリーダーを中心に生徒会役員に協力することで、自分たちでレクリエーションを成功させたことが、たいへん素晴らしいと感じました。この取組を通じて『自ら考え、正しく判断し、進んで行動する』という姿勢がみられ、とてもうれしく思いました。

生徒会役員の皆さん、企画・運営、お疲れさまでした。そして、ありがとう！



第2学年 人権学習「ともに生きよう」 ~ 手話体験学習が行われました ~

11月14日(金)、平戸手話サークルの方々を講師にお迎えして、第2学年の生徒を対象に、手話体験学習が開催されました。この取組は、聴覚障害に対する理解を深め、手話を学ぶことで、ボランティアの技能を高め、「ともに生きる」ための実践力につけること等を目的に行われました。



当日は、指文字や日常生活で使う単語などの手話や、手話ソング（「上を向いて歩こう」）を教えていただくとともに、手話の歴史や聴覚障害者の日常生活での困り感などについて学びました。子ども達は、手話体験学習を通して、身近な人権課題に関心を持ち、互いを認め合い、支え合うことの大切さについても考えてくれたことと思います。講師をしていただいた平戸手話サークルの皆様、ありがとうございました。

第1学年 人権学習「ともに生きよう」 ~ 車いす・アイマスク体験学習が行われました ~

11月17日(月)・18日(火)、平戸市社会福祉協議会田平支所の方々を講師にお迎えして、第1学年の生徒を対象に、車いす・アイマスク体験学習が開催されました。この取組は、「福祉や共生社会についての理解を深める」こと、「身体的な不自由や困難を体験を通して知ることで、障害のある方への理解と配慮の視点を育成する」ことを目的に行われました。

当日は、車いすを押すときの心構えや操作方法、目の見えない方を補助するときの心構えや声のかけ方などを学びました。また、車いすに乗る側やアイマスクをつけて歩行することを体験することで、身体の不自由な人の気持ちや支え合うことの大切さなどについても考えてくれたことと思います。講師をしていただいた社会福祉協議会の皆様、ありがとうございました。

